

SLOC 通信

「市民に対する講演のポイント」

SLOC 副理事長 原田 昭

JCOA と外用製剤協議会共催のロコモ対策市民公開講座(神戸、金沢)で講演をさせていただく機会がありましたので、その経験と反省点を踏まえて、市民に対する講演のポイントをあげてみます。講演の際にお役に立てれば幸いです

1. 医師は会場を暗くして、スライドを使わないと長時間の講演ができません。一方で、多くの参加者はスライド講演のスタイルにはなじみが薄いのが実情です。さらに聴衆は演者には特に興味がないわけですから、講演に興味をもつていただくためにはそれなりの工夫が必要です。

2. 相手の医学知識が乏しいことを意識し過ぎて、多彩なスライドを駆使し、声を張り上げて熱心に話をしたつもりでも、聴衆にとっては専門的で高圧的な講演と受け取られる可能性があります。スライドはできるだけ平易な内容として、ユーモアを交えながらゆっくり話すことで印象がかなりアップします（講演アンケート結果より）。

3. ゆるキャラ（ストロコちゃん）を登場させると、会場がなごんで一気に盛り上がります（エアーストロコは事務局から貸し出しが可能です）。ロコトレを実践・指導する際には、会場の段差や椅子の高さにも気を配り、事故を防ぐことが重要です。

4. SLOC 主催のロコモキャラバンは、NHK エディケーショナルの演出によって市民が親しみやすい講演に仕上がっています。アナウンサーとの対談形式とする、平易なスライドと説明用ビデオの使用、イメージキャラクター（ストロコちゃん）の登場、ロコトレの実践・指導、体操のビデオなど、内容が盛りだくさんで参考になる点が多くあります。

5. 講演の目的は、ロコモへの理解を深めるだけでなく、運動習慣をつける行動変容を起こすことです。